



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

2

No.570



まちひとと百景

成人式

1月11日(日)町公民館で平成21年成人式が行われた。

今年の対象者は男性20人、女性20人の40人。この日の式典に参加した32人は、色鮮やかな振袖やスーツに身を包み、大人の自覚を胸にふるさと苫前町からスタートをきった。

- 平成21年成人式…2
- 苫前町消防団出初式…3
- 子どもかるた大会…4
- 書き初め体験・文芸…5~6
- 町税の滞納について…7
- 健康ばんざい・メタボと闘う…8
- 長寿医療制度ガイド…9
- 国民年金・ファイヤー通信…10
- まなびの情報…11
- 住まいる情報…12~13
- ちびっこギャラリー…14

まちの人口

人口/3,794人 (男/1,777人:女/2,017人)
世帯数/1,678世帯 (1月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

未来に翔け — 新成人おめでとう —

平成21年苫前町成人式



成人宣誓をする瀬川貴士さん(左)と宮野菜緒さん(右)



意見発表(池田真之さん)



意見発表(久保由真さん)

1月11日(日)午後1時から公民館において、平成21年苫前町成人式が行われた。今年の対象人数は、男性20人、女性20人の計40人で、この日は男女合わせて32人が出席し、成人へ新たな一步を踏み出した。

式では、成人者たちがステージのスポットを浴び、「大人として責任ある行動をしたい」「家族や出会った人たちに感謝します」などと、一言ずつ成人への抱負を述べながら登壇した。

式辞で岡田裕幹教育委員長は、「自分のために生きることはもちろん、家族や地域のため、社会的役割をしっかりと認識して行動してほしい。大きく飛躍することができるかは、全て自分の心の中にある。自分を信じて飛び出してほしい」と激励した。

続いて新成人を代表して、瀬川貴士さんと宮野菜緒さんが、「両親をはじめ、多くの方々から心から感謝します。社会は今、非常に厳しい状況であり、幾多の困難があると思うが、この町で学び、育んだ精神で自分を磨き、乗り越えていきたい。成人として、明日の郷土を築く担い手として、微力ながら苫前町の発展のために努力します」と力強く宣誓を行った。

このあと森利男町長と星野恭司議会議長が、「日本の将来、北海道の将来を見る目を持って、大きな気持ちを持ち責任と義務を自覚し、目標を持って人生を歩んでほしい」「厳しい時代であるからこそ、積極的な社会参加と創造力が求められている。また、環境時代とも言われるが、地球に暮らす者として、少しの勇気と大きな信念が必要」と期待を込め、祝辞を述べた。

意見発表では、成人者を代表して池田真之さんと久保由真さんが、「本日この思いを胸に、少しでも社会や北海道農業に貢献できるよう、自分をみがいていきたい」「2年間務めた今でも勉強の毎日、途中で投げ出すことのないようにこれからも頑張っていきたい」と20歳の自覚と責任をかみしめた。

また、古丹別中学校時代の担任であった西山智章先生も駆けつけ、「今日は、きみたちの立派な姿を見て、とても感動している。これからは、大人になったという自覚を持って、しっかりと頑張してほしい」と、教え子たちが成人した喜びと期待を込めて、お祝いの言葉を贈った。



式典後の記念撮影



苫前町消防団出初式

1月5日(月)10時30分から、北留萌消防組合苫前町消防団(小倉哲志団長)の出初式が、消防署古丹別支署前で行われた。

苫前、古丹別、力昼の各分団から50人の団員が参加し、新年の決意を新たに地域防災への士気を高めた。

屋外式では、人員点呼や人員報告に続いて小倉団長や森利男町長、星野恭司議会議長、相澤博昭羽幌警察署交通課長らが服装点検と閲団を行った。

このあと、全団員が団旗を先頭に消防車両を従えて古丹別市街地を分列行進した。

公民館の屋内式では、永年勤続や優良団員の表彰が行われ、森町長や来賓が「地域を災害や火災から守り、町民の生命財産を保護し、安全安心のまちづくりに団結してほしい」と激励した。



古丹別支署前で消防団員の閲団を行う

苫前救難所出初式

1月6日(火)14時から、日本水難救済会苫前救難所(小野善市所長)所員17人が苫前漁港岸壁で出初式を行った。

式では、町長をはじめ町議会議員、留萌海上保安部、漁協関係者などが見守るなか、港内に遭難船がいるとの想定で救命索(もやい銃)の発射訓練を実施。所員が号令に合わせて目標水面に発射し、港内にごう音を響かせた。

訓練終了後、北るもい漁協苫前支所会議室で屋内式が行われ、黙禱に続き、30年勤続の田中敏郎さん、坂本武さんに海難防止の普及啓発と海難救助活動の功績を讃え、北海道社会貢献賞が贈られた。

あいさつで小野所長は「1年を振り返って、苫前では事故が無かった。これからも事故の無いように関係各位にお願いしたい」と呼びかけた。



救命索発射訓練の様子

「新しい自治のかたち」の確立をめざして 町長が年頭の訓示

1月6日(火)9時から、役場大会議室において森町長が仕事初めにあたり、職員ら約70人を前に年頭のあいさつと訓示を行った。

森町長は「産業活性化や財政、教育、医療など課題は山積している。自治体自らの能力が問われる時代だ。このような時代だからこそ、まちづくりは、住民1人ひとりが、前向きに生きるという状況をつくることであると思っている。地域の元気は住民生活のバロメーター、ばらばらに生活しているように見えても、誰にでも、まちづくりのためにできることがある。1人ひとりがそれに気づき、少し生活を変えることで町は動く、10人に1人が変われば、大きく動く」と喚起し、さらに「本町は豊かな自然と歴史、文化に恵まれ、素晴らしい人材が暮らす潜在力と可能性があふれるまち。町民が総結集し『地域力』を高め、町の底力を上げていくことが本町の将来に不可欠だと確信している。厳しい時代を迎えているが、将来を見据え悔いの残らないよう町民が納得できる、しっかりしたまちづくりを進めたい」と述べ、職員や町民の奮起を促した。



年頭の仕事初めにあたり
訓示を行う森町長

町と建設協会が業務協定に調印

12月29日(月)11時から、役場大会議室において町と苫前建設協会(渡部一男会長)が「災害時における応急対策業務に関する協定」の調印式を行った。

この協定は、12月初めに渡部会長から「災害発生時の被害拡大防止と早期復旧を図るため、協力体制の整備を行いたい」と提案があったもので、災害が発生した場合に「建設協会が主体となって住居などの崩壊に伴う人命救助のための障害物撤去」「町や消防団などの水防活動と連携した河川の水害防止のための応急作業」「緊急を要する公共施設の応急復旧作業」などに建設協会が協力することを盛り込んでいる。

調印式では、経過説明を行い、協定書の内容を読み上げた後、森町長と渡部会長が協定書を取り交わした。

森町長は「協力体制はさらに万全となり、町民にとっても心強い」と述べ、渡部会長も「経営環境は厳しいが、地域の安全・安心が少しでも確保できるよう一致団結したい」とあいさつした。



協定書に署名し握手を交わす
森町長(左)と渡部会長(右)

子どもかるた大会

惜しくも全道大会逃す！

新春恒例となった苫前町子ども会育成連絡協議会（早川日出利会長）主催の苫前町子どもかるた大会が、1月11日(日)に公民館で開催された。

第18回目を迎えた同大会には、小学生低学年の部に3チーム、小学校の部に3チーム、中学生の部に2チームの総勢24人が出場し優勝を競った。

近年の少子化でかるた競技人口が減るなか、今回は小学1年生から出場できるように、部門を増やしての大会となった。

また、1月18日(日)に羽幌町中央公民館で開催された第29回留萌管内中部3町村子どもかるた大会には、小学生2チーム、中学生1チームが出場し、近年逃し続けている優勝を目指し勝ち進んだが、善戦及ばず惜しくも全道大会の切符を手中にできなかった。なお、各大会の結果は次のとおり（敬称略）

第18回苫前町子どもかるた大会

小学生低学年の部

- 優勝・星チーム（本田愛珠、佐藤陽来、加賀谷悠衣）
- 2位・月チーム（石井涼菜、石井聡人、鈴木一真）
- 3位・古小1年生（西志尚、合田裕亮、倉田菜佑）

小学生の部

- 優勝・嵐チーム（長澤菜由佳、金子真彩、高田里帆）
- 2位・海チーム（五十嵐海渡、本田脩陽、鴨田祥宏）
- 3位・雪チーム（千田大貴、鴨田菜里、鈴木理久）

中学生の部

- 優勝・空チーム（五十嵐大空、鴨田将来、小林竜真）
- 2位・風チーム（小澤菜摘、川村巧、猪股祐哉）

第29回留萌管内中部3町村子どもかるた大会

小学生の部

- 優勝・初山別C（3連覇） 2位・初山別B
- 3位・苫前町嵐（長澤菜由佳、五十嵐海渡、鴨田祥宏）

中学生の部

- 優勝・焼尻子供会（3連覇） 2位・初山別A
- 3位・苫前町（五十嵐大空、小林竜真、川村巧、鴨田将来）



中部3町村大会で白熱戦を展開する苫前町嵐チーム

本を利用してやってみよう 1/7・8

「カップケーキみたいなキャンドルをつくろう！」

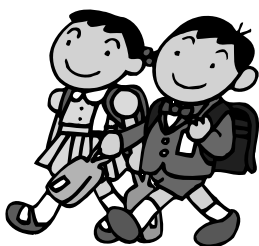
お湯でろうそくを溶かしクレヨンの粉で色を付け、型に流します。飾りを付けたら、きれいなキャンドルができました。



入学おめでとう！春にはピカピカ1年生 平成21年度小学校入学予定者

平成21年度の町内各小学校の新入学予定者は、苫前小学校13名、古丹別小学校11名の計24名（平成21年1月1日現在）となっております。

以下に記載された入学予定者以外において、苫前町に在住（転入）する該当者がおりましたら、お早めに町教育委員会管理課学校教育係（☎64-2384）までお申し出下さい。



苫前小学校（13名）

高田佳歩（和彦） 名畑莉来（克則） 関野洋人（保）
杉本大佑（武春） 伊藤芽々（慎吾） 鈴木椿（雅宏）
芳賀郁斗（貴史） 小笠原瑠菜（伴実） 赤塚凌汰（隆志）
茂木亮（進） 鈴木一真（義樹） 石井しずく（修） 金子慎太郎（智広）

古丹別小学校（11名）

柴田太一（雅紀） 瀬川永夢（大貴） 伊藤拳太郎（芳史）
河端美桜（秀明） 林優汰（篤行） 工藤千翔星（典緒）
前川未咲希（松夫） 鴨田佳尚（誠） 土田佳澄（茂広）
神永杏花梨（正輝） 倉田空（浩司）

*敬称略（ ）内は保護者名

商工会の抽選会大盛況

商工会商業部会（檜森光夫部会長）が、去年12月5日から今年1月5日までの期間で開催した「全町連合年末年始謝恩大売り出し」の抽選会が、12月24日と1月6日の両日、福祉センターと公民館で行われ、寿賞の1万円やふわっと賞など合計995本のあたりくじが用意された。

大売り出し期間中は、町内44の加盟店で買い物100円毎にシール1枚がもらえ、シールを50枚貼った台紙1枚で抽選が1回できる。外れても50円分のサービス利用券がもらえる。

1月6日(火)10時から行われた抽選会には、開始と同時に多くの人々が詰めかけ、新年の運試しとばかりにくじを引いていた。



公民館会場で賑わう抽選会

豊漁と安全を祈願

漁協苫前支所で船霊祭

一月十日(土)に北るもい漁協苫前支所連合部会(西田浩部会長)主催の苫前漁業船霊(ふなたま祭)が、同漁協苫前支所会議室で行われ、苫前港と力昼港の漁船の船主らが、今年の海上の安全と豊漁を祈願した。

この日は七十人の船主のうち二十九人と、来賓として森利男町長、星野恭司議会議長、今隆北るもい漁協組合長ら十六人が出席した。関宮司による祝詞に続き、出席者が次々と祭壇に玉ぐしをささげ、海上安全と豊漁を祈願した。

あいさつで西田浩部会長は「北るもい漁協苫前支所として5年が経過し、昨年は冷蔵庫も完成した。今年は、安全操業で、大漁となるよう期待したい」と述べた。また、来賓の森町長が「苫前町は、漁業、農業がとても良い状況で、一次産業の基盤が固まりつつある。今年も事故の無いようお願いしたい」とあいさつを行った。



古小で新年の書き初め

一月二十日(火)に古丹別小学校三年生から六年生の四十三人が、学社融合事業で「書き初め体験」を行った。

講師に書道愛好会の齊藤芳子さん(古丹別)を迎え、書き初めの心得と書き方を学んだ。

初めに「とめ」や「はらい」などの基本的な注意と実演が行われ、三年生は「友だち」、四年生「美しい朝」、五年生「世界の国」、六年生「夢を育てる」を一字ずつ練習した。

齊藤さんは「上手に書くためには、ヘソで字を書くようにするとよい。一番長い横の棒など、字の特長をつかむとよい。お手をよく見ながら書ように」など、細かな指導を丁寧に行っていた。

本番用の大きな半紙を前に子どもたちは、緊張した面持ちで書き初めに挑戦していた。



丁寧に書き初めを行う児童たち

手打ちうどん作り料理教室

一月十九日(月)に公民館の調理室で成人講座「手打ちうどん作り料理教室」が開かれ、三十代から七十代の十四人が参加した。

長島・香川地区の女性グループ「みゆき会」の大西紀子さんと安藤とき子さんを講師に招き、苫前産の小麦粉(春よ恋い)を使った手打ちうどんに挑戦した。

参加者は、小麦粉に塩や水を混ぜ、しっかりと練り込み下地を作り、そのあと寝かせて熟成を促進。次いでのし棒で薄広く伸ばし、四角形に「角出し」して包丁で細切りにした。出来上がった手打ちうどんは、家族で試食するため、それぞれ家庭に持ち帰った。

大西さんと安藤さんは、自分たちが生産している物を使って、農閑期に仲間と料理の工夫をしながら試食をして、楽しんでいるという。



「文芸」 苫前町文芸を語る会

(短歌)

ひとしきり冷たい風の吹き荒む能登冬の音たてて鳴る
ひりひりと凍れる朝に鳴く鴉街に寒波を運びくるごと

古丹別 木幡とく子

せかされて孫の手をひき歩む道夕や小やけに庭の綿雪
七草になづなすずしろ数えつつ今年の無事を願いて炊くも

古丹別 大矢根亮子

棘となる言葉といくつものみこみて午前零時の灯の中に居る
原罪を己に科して眠らむと決めし枕辺に蘭の香のする

札幌市 住吉 美恵

白雪は夢も希望も埋めつくし左脳は吾にさからうばかり
携帯にメールもなきて老ひし身や方向音痴に笑ふ昼月

(俳句)

空高く 赤黒く見え 枯木山 古丹別 桑 風

冬晴れの 青空仙槎 流れ行く 古丹別 林 千代美

雪の華 窓をふさぎて 咲きにけり 古丹別 林 千代美

(文責・大矢根)

川柳

新年会 ぶじょう揃いで 初笑い 古丹別 運上 吉雄

初詣で 孫の合格 ただ祈り 古丹別 小島 信子

初詣で 孫に引かれる ふりを見せ 古丹別 斎数 範章

笑う門 笑いの中にある祈り 古丹別 関 範章

同期会 初恋相手 皺白髪 古丹別 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

全道大会出場で町長を表敬

昨年11月に富良野市で開催された道北大会で、全道大会の出場権を獲得した苫前パワーズの代表選手らが、12月29日(月)に町長を表敬訪問し、大会への意気込みを語った。

この日は、キャプテンの清水理緒奈さん(苫小6年)と副キャプテンの山本侑奈さん(苫小6年)が「初めての全道大会出場です。一生懸命頑張ります」と、出場への意気込みを話した。

また、「皆さんからたくさんの募金をいただき、大会へ行けることになりました。どうもありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えた。

1月10日から江別市で開催された第25回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会では、決勝トーナメントへ勝ち進んだが、1回戦で優勝チームの岩見沢志文ファルコンズと対戦し、善戦及ばず敗退したが、全道大会で貴重な1勝を納めることができた経験は、チームや町のスポーツ振興などに大きな影響を与える結果となった。

全道大会出場への意気込みを話す
山本侑奈さん(右)と清水理緒奈さん(中央)



苫商1年生 久野茜さんが留学から帰国

海外派遣事業に参加するため、昨年12月19日に役場の森町長を表敬訪問した苫前商業高校1年生の久野茜さんが、8日間のオーストラリア滞在を終えて帰国し、1月23日(金)に再度森町長と伊藤教育長を表敬して、ホームステイなどの感想を報告した。

冬休み期間中の1月7日から14日までの日程で、オーストラリアのクイーンズランド州ブリスベンでホームステイをし、通学や観光を体験した。

町長にお土産を手渡した久野さんは、「建物や食べ物が日本とは大分ちがった。学校内では日本語を禁止にして、全て英語で話すことに決めていた。一度も日本には電話をしなかった。ステイ先の家族との交流が楽しかった」などと、終始笑顔で体験談を語った。

また、「英語のたくさんある環境に触れることができてよかった。これからももっと英語を頑張っていきたい。現地との交流活動をしていきたいです」と、今後の意欲を語った。

森町長は「今回の貴重な経験を生かし今後の自分のため、苫商にもよい影響を与えるように頑張ってください」と激励した。

森町長へお土産を手渡す久野さん



柳家さん喬さん、柳亭左龍さん 苫前商業高校で高座

1月26日(月)夜のとままえ落語会に出演の柳家さん喬さん、柳亭左龍さん、お囃子の岡田あいさんが、13時過ぎから苫前商業高校の体育館でアウトリーチ活動を行った。

落語の鑑賞を通じて、日本の伝統芸術への関心を高め、豊かな感性を育むことなどを目的に実施した。

あいにくこの日は、2、3年生がインフルエンザの影響で欠席し、1年生35人の参加となったが、落語や寄席などの説明をおもしろおかしく行い、お囃子で校歌を斉唱するなど、プロならではの口調や演出で会場を盛り上げていた。

寄席太鼓の指導を受ける花井さん



第1回 ふれあい倶楽部 開催

1月28日(水)に第1回ふれあい倶楽部が、とままえ温泉ふわっとにおいて開催され、町内から6団体32人が参加した。

在宅高齢者介護予防普及事業として町社会福祉協議会が企画し開催したもので、切り絵などの創作活動や、いきいき体操で体力作りなどを行った。

創作活動の切り絵では、初めての人が多かったが、コツがわかると2つ目3つ目と、楽しそうに作品を仕上げている。

昼食を挟み午後からは、講師に留萌市老人クラブ連合会の渡辺正美会長を招き、折り紙やゲームなどの創作活動を行った。最後は温泉に入り、たのしい一日となった。

参加者からは「次回も楽しみです」と、期待の声が上がっていた。



切り絵に挑戦

全道老人クラブ推薦の
いきいき体操

町税を滞納すると行政サービスなどが制限されます

苫前町では、納税に不誠実な滞納者に対して行政サービス等の制限措置を講じる「苫前町町税の滞納者に対する特別措置に関する条例」を施行いたします。

1. 特別措置条例施行の目的

この条例は、町税を滞納することが納税義務の履行における町民の皆さんの公平感を阻害することを考慮し、町税を滞納し、かつ、納税等について著しく誠実性を欠く者に対し、滞納を阻止するための制限措置を講ずることにより、町税の徴収に対する町民の皆さんの信頼を確保することを目的としています。

2. 条例の概要

督促及び滞納処分

町税に係る督促及び滞納者の財産の差押え、換価、換価代金等の配当その他の滞納処分に関する手続を厳正に執行します。

質問及び検査

滞納処分のため滞納者の財産を調査する必要があるときは、その必要と認められる範囲内において、次に掲げる者に質問し、又はその者の財産に関する帳簿書類を検査することができます。

(1) 滞納者

(2) 滞納者の財産を占有する第三者及びこれを占有していると認めるに足りる相当の理由がある第三者

(3) 滞納者に対し債権若しくは債務があり、又は滞納者から財産を取得したと認めるに足りる相当の理由がある者

(4) 滞納者が株主又は出資者である法人

滞納者に対する特別措置

ア. 上記の手続を行っても、なお、町税が滞納となっている場合において、その滞納となっている町税の徴収の促進に必要があると認めるときは、他の法令、条例又は規則の定めに基づき行うものを除くほか、町長が必要と認める行政サービスの停止、許認可の拒否等の制限措置を執ることができます。

イ. また、必要があると認めるときは、上記の行政サービスの停止等の措置と併せて滞納者の氏名、住所その他必要と認める事項を公表することができます。

3. 施行期日

この条例は、平成21年4月1日から施行されます。

【問い合わせ先】 総務財政課税務係 ☎64-2213

暮らしぶりの映し～北の光が続く道～

萌える天北オロロンルート

▼ルート内の取り組み

■第2回萌える天北オロロンルートフォトコンテスト巡回展示開催中!

会場及び日程は随時、萌える天北オロロンルートホームページでお知らせいたします。



留萌管内2月のイベント情報

・15日(日)

スキー場まつり(増毛町)

時間:午前10時～

場所:増毛町雪寒別岳スキー場

内容:雪を使ったアトラクション

・15日(日)

オロロンウィンターフェスティバル(羽幌町)

時間:午前8時30分～午後2時

場所:リバーサイド開発用地

内容:メインイベントは馬そり引き

・21日(土)

ミレニアムパークランド'09(天塩町)

時間:午後3時

場所:ミレニアムパーク

内容:冬のイルミネーションを満喫

・22日(日)

第17回北海道凧あげ大会

時間:午前9時30分(開会式)～

場所:とままえ温泉ふわっと周辺

内容:凧あげ競技、餅まき、特産品等販売

・3月2日(日)

萌っこ春待里(留萌市)

時間:午前9時30分～午後2時

場所:陸上自衛隊留萌駐屯地グラウンド

内容:萌っこばんばレースを開催

・2月中旬(予定)

えんべつ冬まつり(遠別町)

お問い合わせ

■萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局

ホームページ <http://rumoifan.net/moeten/index.html>

電話 0164-42-3871 FAX0164-42-2200

メール tenpoku-ororon@moeru.fm